

講師名	講師紹介文	所属・経歴等	講義概要	想定受講生
堀 明人	自身も新規就農者として観光果樹園を経営する半農半コンサル。IT活用研修、新商品・新サービスの販促・マーケティング支援が専門。全国の農業者の地に足の着いたICT活用事例を自ら取材し「農業IT取材記」を編集。「ITに振り回されていませんか？」ITに使われてしまっていないか？をテーマに、ITは上手に使えば多くの人々、社会をもっと幸せにすることができる、と考えて活動している。	株式会社トゥモローズ 代表取締役 日本農業情報システム協会 理事 事務局長 一般社団法人千葉IT経営センター 理事 あびこブルーベリーガーデン 代表 著書：記録農業スマホ農業	全国の農業者の地に足の着いたICT活用事例を自ら取材した「農業IT取材記」を題材に、農業分野におけるICT活用の現況と今後の方向性、上手な取り組み方について、演習を交えてわかりやすく解説します。 ・農業ICTの現在地 ・全国の農業者の等身大の活用事例（「農業IT取材記」より） ・「農業IT取材記」掲載22ケースの分類 ・これからの農業経営とICT活用 ・目的別農業ICT類型と特徴 ・農業経営の「見える化」とCCP ほか	・農業経営者 ・普及指導員 ・農業ICTコンサル ・タレント
松本 清	IT会社を経営しながら、2010年に農地法改正を機に農業に新規参入して、現在6期目を迎え農地19haを借り社員8名、パート8名でネギ、ブロッコリー、白菜、キャベツ、トウモロコシ、カブ、ゴーヤ等、露地野菜を中心に営農しております。5年間は農業を覚える事を目標に毎日、畑で作業を行ってきました。今後、現場に必要なIT化を目指して開発に取り組む予定現在、設計を行っております。元々は、市町村担当SE。	株式会社つばさ情報 代表取締役 株式会社つばさグリーンファーム 代表取締役 埼玉県坂戸市役所、深谷市役所、入間市役所、システム導入	これから、新規農業を参入するにあたり、注意点と対策を解説します。 ・農業委員会の対応 ・農地確保の対応 ・栽培について ・販売について ・経営について ・今後の日本農業について	・企業農業参入 ・予定者
竹内 健司	農業機械メーカーにて草刈機の設計開発を行っていたが家庭菜園がうまくいかない自分自身の経験より菜園特化のSNS「菜園ナビ」を考案。会社に提案し採用される。サービスリリース1年半でユーザーは1万人弱となる国内最大の菜園SNSを企画、運営。現在は株式会社ファームプロで農業者と消費者が密につながるような現場に即したサービスの開発を行っている。テラスマイル株式会社では農業者の所得を向上させることを目的とした農業経営者育成のためのITサービスの設計を担当。	九州大学農学部大学院 農業機械研究室卒業 株式会社オーレック（開発部・営業部新規事業担当） 現職 株式会社ファームプロ代表取締役社長 テラスマイル株式会社営業戦略責任者兼プロジェクトマネージャー アグリガーデンスクールアンドアカデミー臨時講師	全国のITを活用した農業者の活用事例の紹介。今からすぐに始められる簡単なIT事例紹介。ITを用いた効率的な情報発信の仕方・事例紹介。農業経営に特化したITサービスの紹介。地域の特産品創出・強化について。	・農業経営者 ・普及指導員 ・農協 ・地方自治体
坂本 一行	長野県塩尻市においてIT-アグリ研究会（ https://sites.google.com/site/sipitagri/ ）を主宰。 獣害被害軽減のため、ICTを活用した機器開発や他社製品の紹介を行っている。自社開発した野生動物感知通報システムは、動物の出没を携帯電話やスマートフォンに写真付で送信し、“野生動物出没の見える化”による追払いと効率的な捕獲を可能としている。	日本ソフトウェアエンジニアリング株式会社 代表取締役会長 日本農業情報システム協会 副理事長 鳥獣害対策部会 IT-アグリ研究会会長	地域・集落の方々が一体となった獣害対策の中で、ICT機器利用の具体的な事例の紹介。無線ネットワークを利用した広範囲に展開できる野生動物感知システムの紹介。	・自治体 ・被害が起きている、又は予想される営農集落の人々 ・農業法人 ・狩猟免許所有者団体
伝法 毅	回線業者やプロバイダの制約を離れた、利用者にとって自由になるネットワークを、利用者自身が必要な場所に作る事ができる環境をご提案する立場。農業ICTに必要な、圃場のネットワーク、クラウドのネットワークを、農業者の皆様にとって最適に選択できることをテーマにして、無線LAN、Zigbee、Wi-SanからLTEや衛星まで、幅広く調査・検証・提案を実施している。	株式会社ネクステック 製品事業部部長 講演：第2回札幌イノベーションセミナー「農業経営にイノベーションを！」(2015年2月23日) 事例紹介	農業ICTの目的と手段に応じた、ネットワークの勘所を、圃場の地形的特性や目的に応じて解説します。JAISAメンバー企業との実証事例のご紹介と合わせて、体感的に理解しやすい内容です。 ・農業ICTとネットワーク ・ネットワークの利用形態 ・タイプ別の想定データ量とランニングコスト ・将来を見据えたネットワーク選定方法 ・屋外でネットワーク機器を使用する方法	・農業経営者 ・普及指導員 ・農業ICTコンサル ・タレント ・農業ICTインテグレーター
下村豪徳	水稲農家の長男生まれ。農業とは無縁のIT業界に入社。実家の農業の売上減少をきっかけに農業業界の不思議さに疑問を持ち、ITで支援できると確信。「IT農業を通じて笑顔の人の和を創り社会貢献する」を理念とした株式会社笑農和を設立。農産物の販売支援などを行いながら、農業へのIT化を推進している。様々なメディアに出演しているほか、講演活動も行っている。	株式会社笑農和 代表取締役社長 日本農業情報システム協会 北陸支部長 ごはんソムリエ 一般社団法人日本プロスペクター協会 起業家万博 オーディエンス賞受賞(2015年3月)	農業現場を必ず見学し、業務課題を探る現場主義を徹底しています。売上増大、省力化、業務状況の見える化をキーワードにIT化を進めています。 ・農業ICTの活用事例 ・売上増大のためのICT活用 ・新規就農者向け農業経営マインド ・水稲農業におけるICT活用 ・お米も生きている ほか	・新規就農者 ・農業経営者 ・普及指導員 ・自治体